

5 ESDとこれからの道徳教育

<1>

道徳の時間「別葉」

と

「ESDカレンダー」

総合的な学習の時間	◇白方から世界へⅠ ◇伝統を引き継ごう ○オリエンテーション ○運動会でつながろう	
道徳 (日本標準)	1. 日付とコトバ 1-(2)理想、勇気、努力 2. キツパリ！ 自分を変えよう 1-(1)望ましい生活習慣、思慮・節制 3. だから私はがんばれる！ 1-(4)明朗・誠実 「つないで、つないで、一つの物語」 2-(3) 「カレーライス」 1-(1) 1-(4) 4-(5) 「春のいぶき」 3-(2) 4-(7)	4. ロレンゾの友だち 2-(3)信頼・友情と男女の協力 5. まゆみちゃんと私 4-(5)家族愛 6. 涙そうそう 3-(1)生命尊重 「笑うから楽しい」 1-(4) 3-(1) 「時計の時間と心の時間」 1-(1) 1-(5) 2-(4) 「学級討論会をしよう」 2-(4) 「伝えにくいことを伝える」 2-(2) 4-(2) (2)天皇中心の国づくり 1-(2) 4-(7) 4-(8) (3)貴族のくらし 4-(7) 4-(8)
国語 (光村図書)		
社会 (東京書籍)	1. 日本の歴史 (1)縄文のむらから古墳のくにへ 1-(5) 4-(7) 4-(8)	1. 対称な図形 1-(5) 4-(7) 2. 円の面積 1-(5) 1-(6) 4-(1) 3. 文字と式 1-(5) 4. 分数のかけ算 1-(5) 1-(6) 4-(1)
算数 (東京書籍)		

第5学年 ESDカレンダー 須賀川市立白方小学校

教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	春の空 俳句教室			夏の夜			秋の夕暮 考えを明確にして想いをいっ きにする文章を書く		秋の夕暮 読者のしきたりの工夫を見つけ 出し合う(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ)		冬の朝	
算数												
社会	わたしたちの国土			わたしたちの生活と食料生産 (ⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅪⅫ)			私たちの生活と工業生産 (ⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅪⅫ)				私たちの生活と環境	
理科			植物の発芽・成長・結実(ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅪⅫ)				流れる水のはたらき				人の誕生	
総合			魚のたんじょう			赤ちゃんとふれあおう(Ⅵ)	白方の産業を調べよう (ⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅪⅫ)	祖父祖母参観	ブナ林にいこう・森林について調べよう (ⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅪⅫ)	ムシチック ワールド		
外国語							外国の人と交流しよう(ⅠⅣⅦ)					
特活			学校を きれいにしよう (ⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅪⅫ)									
道徳	住んでいる町 への思い		生きること				世界の子どもたちの 願い(ⅠⅣⅦ)	環境のため にできること	放射線について 考えよう	外国との習慣 の違い(ⅠⅣⅦ)	友だちの思い や願い	日本のよいと ころは(ⅠⅣⅦ)
音楽							日本の音楽・世界の音楽					
図工												
家庭												
体育												

自然・生命 エネルギー・地球環境 とともに生きる ごみ・資源

意図をもって関連づけた「指導計画」

指導の時期や単元名と価値項目の関連

ESDで目指す子ども像
つけたい力

5 ESDとこれからの道德教育

<2>

「特別の教科 道德」（道德科）への改正－1

<道德教育の目標>

教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方（中学校：人間としての生き方）を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を養うことを目標とする。

<特別の教科 道德 の目標>

第1章総則の第1の2に示す道德教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道德性を養うため、道德的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方（中学校：人間としての生き方）についての考えを深める学習を通して、道德的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

「考える道德」
「議論する道德」への転換



- 「考える」「議論する」に値する内容
- ESDの視点からの教材、他教科等との関連

「特別の教科 道德」（道德科）への改正－2

<「特別の教科 道德」の内容項目>

- A 主として自分自身に関する事
- B 主として人との関わりに関する事
- C 主として集団や社会との関わりに関する事
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事

同じ

ESDの実践には、特に次の2つの観点が必要

- ・ 人格の発達や、自律心、判断力、責任感などの人間性を育むこと
- ・ 他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」「つながり」を尊重できる個人を育むこと
(ユネスコスクール公式ウェブサイト)

「特別の教科 道德」（道德科）への改正－3

<『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道德編』 「第3節 指導の配慮事項」>

- ▷ 主体的な学習
- ▷ 自分の考えを表現する
- ▷ 問題解決的な学習
- ▷ 現代的な課題
 - 各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における学習と関連づけ、それらの教育課題を主題とした教材を活用
 - 持続可能な発展を巡っては、環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があり、これらの問題は、生命や人権、自然環境保全、公正・公平、社会正義、国際親善など様々な道德的価値に関わる
 - これらの諸課題には多様な見方や考え方があり、一面的な理解では解決できないことに気付かせ、多様な価値観の人々と協働して問題を解決していこうとする意欲を育む
 - 答えが定まっていない問題を多面的・多角的視点から考え続ける姿勢を育てる

ESDの学びとの関連

まとめとして・・・

「何のために学ぶのか？」



良い大学に入って
良い会社に入って
良い暮らしをする

自分のために学ぶ



「（自分のため）+だれか
のために学ぶ」と胸
をはって言える子ど
もたちが増えること
を願って。



<岡山ESD
キャッチフレーズ>
(E) ええものを
(S) 子孫の
(D) 代まで

法政大学坂本旬教授
(E) いい
(S) 世界に
(D) できる人間
を育てる教育

各都道府県各教育委員会教育長様
各区市町村教育委員会教育長様
関係各小・中学校長様

平成28年 6月 吉日

全国小中学校環境教育研究会
会長 小山 成志

第48回全国小中学校環境教育研究大会（福島大会）

【第一次案内】

皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、全国小中学校環境教育研究会では、標記の大会を開催いたします。つきましては、全国各地の小中学校、教育関係者をはじめ、多くの皆様のご参加をいただき、環境教育及びESDのさらなる充実と発展を図るべく、ここにご案内申し上げます。

21世紀「環境の世紀」の提言

研究主題 **持続可能な社会づくりのための環境教育の推進**
～環境教育によって育む学力と環境保全意識～

- 1 日時 平成28年 11月18日（金） 10時20分 ～ 16時10分
- 2 会場 福島県 須賀川市立 白方小学校 校長 内山 博行
〒962-0301 福島県須賀川市今泉字梅田181 TEL 0248-65-3191 FAX 0248-65-3652
- 3 主催 全国小中学校環境教育研究会 <HPアドレス <http://kankyokyoiku.jp/>>
- 4 後援 文部科学省 環境省 福島県教育委員会 須賀川市教育委員会
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 福島県小学校長会 福島県中学校長会
須賀川市小学校長会 須賀川市中学校長会 日本教育公務員弘済会福島支部

5 日程

10:20	10:55	11:40	12:40	13:30	14:30	15:00	16:00	16:10
受付	公開授業	昼食	開会式	研究発表	講評	休憩	講演	閉会式

- 6 講演 「国連ESDの10年(DESD)の振り返りと今後の展望 ～ 学校教育への期待 ～」
東京都市大学 教授 佐藤 真久 先生

- 7 参加費 2,000円(資料代) ただし、全国会員は無料

- 8 大会事務局 詳細は第二次案内にてお知らせいたします。

【事務局】 東京都 府中市立武蔵台小学校 校長 野澤 由美

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-3 TEL 042-322-0615 FAX 042-326-2680

【会場校事務局】 福島県 須賀川市立白方小学校 教頭 善方 成浩（上記連絡先）

今年の5年生・6年生の実践「ビデオレターで交流しよう」



今年の5年生・6年生の実践「ビデオレターで交流しよう」



岩瀬中学校の英語の先生に再度来ていただき、伝えたいことを英語でどう言えばいいのか教えていただきました



6年生の校内発表会



撮影し直したものを本校担当のALTに見てもらいます

自分たちのメッセージをきちんと伝えたい

⇒撮影～見直し～撮影・・・

英語の先生に聞く

ALTに見てもらう

何も見ずに英語でしゃべる

タブレットでの編集を自分でやる

どんな返信が来るか楽しみ

<国際理解・親善・思いやり>

▷ 日本ユネスコ国内委員会

<http://www.mext.go.jp/unesco/>

▷ 福島ESDコンソーシアム（FEC）

<https://www.facebook.com/fec.org/>

▷ 須賀川市立白方小学校

http://www.sukagawa.gr.fks.ed.jp/?page_id=184

E-mail : shirakata-e@fcs.ed.jp

本日は、このような機会をいただき、ありがとうございました。